



# 柏葉



学校だより 第19号  
 令和6年9月13日(金)  
 福島県白河市立東北中学校  
 発行責任者 校長 邊見 浩  
 「自分の未来を切り拓け！」

## 県南中学校駅伝競走大会

9月4日(水)に県南中学校駅伝競走大会が玉川村のクックドームたまかわ周回コースで行われ、女子は5区間12.3km、男子は6区間18.0kmで健脚が競われました。女子は昨年の記録を2分以上更新し、55分31秒の16位でした。男子も同様に昨年の記録を4分以上更新し、1時間8分39秒の13位でした。6月下旬から特設駅伝部を始め、地道に練習した成果が結果に現れ、とても嬉しく思います。特設駅伝部部員の皆さん、お疲れ様でした。



## 安珍歌念仏踊りの練習開始！！

毎年、中学1年生が、総合的な学習の時間において、「安珍歌念仏踊り」を継承しています。今年度も白河根田安珍念仏踊り保存会の指導の下、9月5日(木)から柏葉祭での学年発表に向け、練習が始まりました。



### 『安珍歌念仏踊り』とは・・・

白河市を中心とする福島県県南地域一帯に江戸時代から伝わる「歌念仏踊り」で「奥州白河歌念仏踊り」の1つとして、福島県の重要無形民俗文化財に指定されています。その代表的なものが、白河根田安珍念仏踊り保存会によって受け継がれているのが「安珍歌念仏踊り」です。

歌舞伎や能などで演じられる『娘道成寺』の僧・安珍が、ここ根田の出身と伝えられることと結び付いているもので、「安珍和讃」という讃歌(物語をたどる歌念仏)によって踊られるのが大きな特色です。安珍、清姫、船頭の3役は歌舞伎と同じ華やかな衣装を着ますが、3役以外は黒の着物と決まっています。現在は、踊り手のほか、念仏を申す申し方、おはやし、かね、太鼓で構成されています。ゆったりとしたテンポから手振りだけで踊られる速い踊りまで、3段に変化するその歌と踊りは、素朴な中に際立つ郷土に伝わる芸能の魅力を秘めており、聴くほどに見るほどに心をとらえます。

『れきしら入門編』より

## 1年生陶芸教室!!

9月12日(木)に1学年において、陶芸教室が実施されました。伝統工芸品の「大堀相馬焼」の錨屋窯から4名の講師の方に来校いただき、手ほどきを受けながらマグカップを制作しました。熱心に制作した作品は、10月19日(土)の柏葉祭でお披露目する予定です。

